

事業計画書

事業名	中高年健康セミナー・マレットゴルフでパワーアップ！	
重点テーマへの該当	有	中高年の生活習慣改善のために日常的な運動を促す取組
	無	
実施箇所	望月老人福祉センターマレットゴルフ場・望月少年の家マレットゴルフ場 ・布施温泉マレットゴルフ場	
実施期間	事業開始予定年月日	令和2年 8月1日
	事業終了予定年月日	令和3年 1月31日
事業概要	<p><事業の目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の実施率が低い40代から50代の方々の運動不足の改善 ・もちづき総合型クラブの新規事業としてマレットゴルフを取り入れることによって、高齢化している既存の愛好者団体との懸け橋となり、既存団体の継承の一助となると共に多世代交流と中高年の健康維持につなげたい。 	
	<p><事業の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久市望月地域の3箇所（望月老人福祉センターマレットゴルフ場・望月少年の家マレットゴルフ場・布施温泉マレットゴルフ場）のマレットゴルフ場にて外部講師を依頼し、3回の講座（教室）を開催して技術・ルール等を学ぶ。 ・技術・ルール等を習得後、参加者による大会を開催する。 ・参加者の募集範囲は佐久市内を対象とし、募集の広報はもちづき総合型クラブホームページ及びチラシにより行う。 ・貸出用用具を購入し、上記講座、大会で貸し出すほか、日常的な健康づくりに資するよう、常時希望者に貸し出しを行う。 	
	<p><達成目標></p> <p>参加者を特に運動の実施率の低い40代から50代の男性をターゲットとし、1チーム4名までとなることから、4チーム以上16名程度の参加者の獲得と次年度以降の継続開催を目標とする。</p>	
	<p><広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集のチラシへ「駒の里過疎対策プロジェクト支援金」を活用した事業である旨を記載する。 ・購入したマレットゴルフのスティックへ「駒の里過疎対策プロジェクト支援金活用事業」のシールを貼付する。 	
	<p><重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちづき総合型クラブの新規事業としてマレットゴルフを取り入れ、講座、大会を開催し、参加者を特に運動の実施率の低い40代から50代を中心とする。 <p>開催にあたっては、中高年の方々が参加しやすいよう、土曜日、日曜日の昼間に開催日を設け、また、広報のチラシを事業所や望月地域内の世帯へ全戸配布し、もちづき総合型クラブホームページにおいても事業の周知を行っていく。</p>	

年間計画	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集のチラシ作成 ・参加者募集のホームページ作成 ・備品の購入検討
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集の広報（ホームページ・チラシ配布） ・コースの整備 ・備品の購入
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・講座（教室）の開催（月2回） ・コースの整備
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・講座（教室）の開催（月1回） ・大会の開催（月1回） ・コースの整備
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の反省と継続審議
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度への継続審議
	2月	
	3月	

特記事項	地域や社会にどのような利益がもたらされるか	<p><「公益性」の視点> 近年、マレットゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ愛好者の既存団体は高齢化による競技人口の減少等から団体自体の存続が困難になってきている。もちづき総合型クラブの新規事業とすることによって既存の愛好者団体との懸け橋となり、既存団体の継承の一助となると共に多世代交流と中高年の健康維持に繋がる。</p>
	市内へどのように取組が波及していくが見込まれるか	<p><「波及効果」や「発展性」の視点> これまで、盛んに競技されてきた種目が、一定の年代によって維持されてきた経過がある。各団体とも後継者の育成と団体の継承を模索している。そうした、各団体の後継者育成モデルケースとしてマレットゴルフ以外の種目の団体にも波及していくことが見込まれる。</p>
	どのような点に独自性や工夫があるか	<p><「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点> もちづき総合型クラブでは各種の教室を開催しているが、主に小学生を主体とする種目が多い。そうしたなかでは一般を対象としたウォーキング教室は一定数の参加者のある人気種目である。こうした教室の開催経験を基にマレットゴルフ教室を開催し、既存の愛好者以外の特に40代から50代の新規競技者の掘り起こしを行いたい。</p>
	活動を継続するためにどう取り組むか	<p><「自立性」の視点> 次年度以降、もちづき総合型クラブの教室として、大会の開催も計画しており、今年度購入するマレットゴルフのセットを通常の教室や大会にて貸出しを行っていく。講座、大会や常時貸出しの際には貸出簿を作成し、管理の徹底を行っていく。</p>
	翌年度以降の活動内容概要	<p>もちづき総合型クラブの教室として年間計画にあげ開催したい。</p>
事業の最終目標	<p>運動の実施率の低い40代から50代の方々の運動不足の改善を目的に対象年齢者20名の参加を目標とする。</p>	